

やすらぎ いきいき 輝く街 ふっさ

福生の教育

—発行・編集—
福生市教育委員会
事務局庶務課

〒197-8501
福生市本町5番地
042-551-1511

主な記事 ○採れたて野菜で学校給食！ ○昭島市と図書館相互利用 ○平成22年度社会教育事業の概要

「基本方針」につきまして、概要を述べさせていただきます。教育目標でございますが、

この計画は、第4期の福生市基本構想の趣旨や方向性と整合性を持たせております。

「基本方針」につきまして、概要を述べさせていただきます。教育目標でございますが、

この計画は、第4期の福生市基本構想の趣旨や方向性と整合性を持たせております。



福生市教育委員会
委員長 長谷川貞夫

平成22年度 福生市教育委員会の基本的な考え方
平成22年第1回市議会定例会において、長谷川貞夫教育委員長が福生市教育委員会の基本的な考え方を述べ、「福生市教育振興基本計画」「教育目標」「基本方針」「主な教育施策」「教育推進プラン」について説明いたしました。要旨は次のとおりです。

今後10年間の目指すべき教育の姿として、大きく3つの目標を掲げました。

一つ目は、福生市の子どもたちが、「生きる力」をはぐくみ、人間性豊かに成長する教育を推進することとしております。

二つ目は、市民の誰もが、あらゆる機会、場所で学び続けることのできる社会の実現を図るため、生涯学習を振興することとしております。

三つ目は、学校・家庭・地域の三者が互いに連携・協力し、市民が主体的に参加する地域全体での教育の向上に取り組みむ社会を目指すこととしております。

次に、「教育目標」を達成するための「基本方針」が四つございます。

まず、地域に根付いた開かれた学校づくりを推進し、さらには、地域全体で教育力の向上に取り組む社会の実現を目指し、地域の人材を活用して組織的に学校支援を行う「学校支援地域本部事業」に取り組んでまいります。

次に、福生市公立学校教育研究会で実施している小・中合同の研究活動、研修などを通じて小・中学校の連携をより強め、福生市における教育課題を共有の認識とする条件整備を行なってまいります。

さらに、福生市学校サポートチーム活動の充実と合わせ、小学校においては授業指導補助員、中学校においては適応指導補助員などのスタッフを継続して配置し、そして中学校一年生を対象に実施しております合宿型の学習教室「中学校宿泊学習教室」を引き続き実施してまいります。

また、適切な「教育環境の整備・充実」を図るため、学校の適正規模、適正配置について、少子化に伴う児童・生徒の減少という現状や、今後の見通しを加味した上で、現行の学校設置基準に沿った適切な学級、学校規模を確保し、良好な教育環境づくりを進めるための研究、検討をしてまいります。

最後に、「教育推進プラン」につきまして申し上げます。

このプランでは、福生市教育振興基本計画に基づき、短期的に取り組む推進事業を示しております。そして4つの

福生市教育委員会表彰が行われました
受賞者の皆様は次のとおりです。(敬称略、順不同)
○児童及び生徒の表彰
・福生第一中学校 井上拓哉
第33回関東中学校水泳競技大会出場
・福生第二中学校 大東直樹
高円宮杯第61回全日本中学校英語弁論大会決勝大会出場
コカ・コーラ環境・社会特別賞受賞
・福生第二中学校 清水大樹
平成21年度東京国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞受賞
・福生第二中学校 佐々木耕平
第48回東京都中学校総合体育大会砲丸投第3位、四種競技第3位
・福生第二中学校 佐々木泰平
第48回東京都中学校総合体育大会走高跳優勝
・福生第二中学校 陸上部
第48回東京都中学校総合体育大会総合第3位
・福生第三中学校 岩田あおい
第49回全国中学校水泳競技大会出場
・都立福生高等学校 吉岡耕太
第60回関東高等学校ソフトテニス大会出場



表彰状授与の様子

全文については、福生市ホームページをご覧ください。



謝辞を述べる岩田さん



市長と記念撮影

受賞おめでとうございます。今後のさらなるご活躍を期待しています。

問合せ 庶務課 庶務係
☎551・1930

○学校教職員の表彰
・福生第三小学校 柴田忠幸
平成21年度文部科学大臣優秀教員表彰受賞
○個人及び団体の表彰
・太鼓と芝居のたまっ子座
第三小学校の和太鼓活動支援
・小島 貞一
第三小学校の藍染め活動支援
・小島 香
第三小学校の藍染め活動支援
・四小ファンクラブ
福生第四小学校のサタデースクール活動
・福生一中小やじの会
福生第一中学校の学校支援活動
・向井 宗晴
ポレイスカウトガールズカウト活動
・島貫 正寿
平成21年度全日本卓球選手権大会(男子85歳以上の部)第3位

平成21年度地場産野菜使用状況 (生産者50音順)

生産者	提供野菜	使用メニュー
石川恵一さん	さつまいも	さつまいもごはん
	ゆず	さわらのゆずだれがけ
笹本和美さん	じゃがいも	豚汁
	だいこん	ダイスサラダ
清水長治さん	玉ねぎ	ミネストローネ等
	キャベツ	ポルシチ
関谷梯三さん	玉ねぎ	じゃがいものそぼろ煮等
	トマト	さわらのマリネ
	にんじん	さつまいもといかの煮物等
	春だいこん	みそ汁
	白菜	ゆでやさい
野崎 博さん	じゃがいも	カレーライス
村野和男さん	キャベツ	マカロニのミートソースあえ
	さつまいも	さつまいもごはん
	じゃがいも	夏野菜カレー等
村野徳平さん	だいこん	七草すいとん等
	じゃがいも	ふっさの肉じゃが
村野仁義さん	じゃがいも	夏野菜カレー

福生市では、平成20年度の「輝け福生いきいき活動」の日の給食に、市内で採れた「玉ねぎとじゃがいも」を使用したカレーライスを提供したことから地場産地消が始まりました。

平成21年度は、市内の農家の皆さんのご協力でたくさん地場産野菜を使用した学校給食を提供することができました。

地産地消の野菜は、生産者の顔が見える安全・安心、鮮

問合せ 学校給食課 給食第一係
☎551・1344



地場産野菜で作ったカレーライス

給食センターからのお知らせ

度抜群の食材です。地場産野菜を使って作った給食メニューは子どもたちにも大好評です。そこで、平成21年度に学校給食で使用した地場産野菜を一覧にしました。

昭島市の図書館

昭島市の図書館 利用内容について

昭島市にお住まいの方は昭島市の図書館が利用できます(平成21年11月1日開始)。

昭島市にお住まいの方は昭島市の図書館が利用できます(平成21年11月1日開始)。

昭島市にお住まいの方は昭島市の図書館が利用できます(平成21年11月1日開始)。

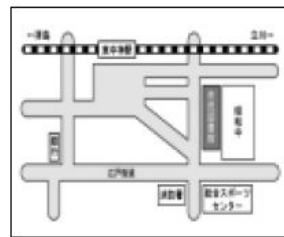
昭島市の図書館 利用内容について

利用方法は、昭島市図書館の利用規定によります。

【貸出冊数/期間】
図書・雑誌 冊数制限なし / 3週間
視聴覚資料(CD・カセット) 各3点 / 1週間

【返却】 昭島市の図書館で借りた資料は、昭島市の図書館へ返却してください。

【休館日】 毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合は市民図書館のみ開館。火曜日は全館が振替休館)、祝日(市民図書館は開館)、年末年始、特別整理期間



昭島市民図書館 (JR東中津駅徒歩2分)

昭島市の図書館 利用内容について

昭島市の図書館 利用内容について

市民図書館 ☎543-1523	昭和分館 ☎546-8851 緑分館 ☎544-8818 やまのかみ分館 ☎543-3947	つつじが丘分室 ☎545-5448 (新幹線電車図書館)
火 午前10時～午後8時	午前10時～午後6時	午後0時30分～午後5時
水 午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	
木 正午～午後6時	午前10時～午後6時	
土 午前10時～午後8時	午前10時～午後6時	
日 午前10時～午後5時	午前10時～午後6時	
祝 午前10時～午後5時	休館	休館

市内の学校・幼稚園・保育園・保育所・学童クラブなど団体を対象に、所蔵の本約2万冊を団体貸出として貸出するサービスを実施しています。

団体貸出用図書は、幼児・児童向けの読み物、絵本が中心です。本の搬送のサービスもしています。利用には、事前に中央図書館への申し込みが必要です。

子どもたちがより多く本に触れるきっかけづくりに最適です。多くの団体のご利用をお待ちしています。

問合せ 中央図書館
☎553・3111

図書館の「団体貸出」を知っていますか?

青少年海外派遣事業

《大自然と先進文化の集うまち「シアトル」》



今年度も、アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市に市内在住の中学2・3年生12人を7月21日～8月3日までの14日間、派遣します。

この事業は、派遣先の国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し、人々と交流することによって相互理解を深め、将来、国際的な視野に立って活躍できる人材の育成を目的としています。

充実した派遣とするために、派遣生は、5月下旬から毎週、市役所で事前研修を受講します。

現地派遣期間中は、ホームステイをしながら大学で英語の研修を受けます。

また、老人ホームに入所している方々や同世代の人々等との交流、自然史文化博物館やボーイング社組立工場の見学、国立公園でのトレッキング等を通じて、アメリカの社会・文化・自然を総合的に学習します。

派遣生については3月に募集を行い、選考試験を実施しているところです。派遣生の決定については、7月15日号で紹介します。

問合せ 生涯学習推進課 地域教育支援係 ☎551・1958

平成22年度福生市公立学校副校長の人事異動

小学校 (敬称略) (平成22年4月1日)

転入校	氏名	前任校
福生第四小学校 (転任)	田中 敏文	福生市立福生第五小学校
福生第五小学校 (転任)	浦川 潔	福生市立福生第六小学校
福生第六小学校 (転任)	井上 正義	福生市立福生第四小学校

中学校 (敬称略)

転入校	氏名	前任校
福生第一中学校 (転入昇任)	生子 國博	昭島市立瑞雲中学校
福生第三中学校 (転任昇任)	嶋津 和之	福生市立福生第二中学校

充実した市民生活と

豊かな地域社会を築くために

平成22年度社会教育事業の概要

市民の皆さんが人間性豊かに、明るく生活していくために、様々な学習（スポーツ及びレクリエーションを含む）活動の機会を保障し、奨励・援助するための条件整備を進めていきます。日常生活を通じて学びあい、互いに連帯することによって、充実した市民生活を送り、豊かな地域社会を築きましょう。



ふっさっ子の広場の様子

平成22年度の社会教育事業として次のような活動を行いますので、多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。

【社会教育・文化芸術活動】

学習環境の整備、奨励・援助及び文化活動の充実を図ります。

■市民文化祭・市制40周年記念事業（以下40周年事業）

■社会教育関係団体への奨励・援助

■生涯学習推進計画の策定

■地域まなびあいボランティア事業

【地域教育支援活動】
学校・家庭・地域住民の相互の連携のもとに進められる教育を支援します。

■学校支援地域本部事業

■ふっさっ子の広場事業

【青少年健全育成活動】

青少年の自ら伸びようとする意欲を、家庭、学校、職場、そして地域社会が一体となって育んでいくよう努めます。

■青少年海外派遣事業

■成人式

■子ども議会

■青少年育成地区委員会活動への奨励・援助

■青少年育成地区委員長主催事業（ふっさっ子輝きフェスティバル・軽スポーツ&どん汁会等）の支援

【文化財保護活動】

長い歴史と風土の中で、今日に受け継がれてきた貴重な文化遺産、文化財が身近にあることは、市民の誇りです。

文化財は変化の激しい現代の社会生活の中で、私たちが生活を振り返り、新たな情報や活力を得るうえで重要な存在となっています。

そのために文化財、歴史的環境を積極的に保護し、活用します。

■文化財の登録と指定

■市文化財総合調査

■民俗調査、古文書調査

■郷土資料室展示活動

■市制40周年記念特別展

①「福生の歴史」②「平和のための戦争展」③「刀剣展」④「すりの展」

■常設展「福生の成り立ちと人々の歩み」

■企画展「小正月のモノツクリ ミキノクチとアーボ・ヘーボ」

■学習会活動

■古文書学習会、体験学習、郷土学習会など

■市史の普及と情報提供

■文化財ガイド養成講座、史跡見学会、収集資料の提供など

【公民館活動】

■学級・講座・教室

■幼児対象Ⅱ保育室事業

■青少年対象Ⅱ自然体験・食育など

■成人一般対象Ⅱ人権・環境・福祉・女性問題・保育室併設講座・文学・文化教室など

■高齢者対象Ⅱ仲間と生きがいづくり事業

■障害者対象Ⅱ「にじのはらっぱ」仲間づくりと自立を目指します

■リーダー研修・実行委員会

■公民館のつどい実行委員会

■公民館のつどい

■市民音楽祭（40周年事業）

【市民会館主催事業】

■市民名画劇場、親子向けの音楽会、落語鑑賞会、民族音楽やクラシックコンサート、「劇団四季ソング&ダンス」55ステップス」他

※市民会館は指定管理者による管理運営となります。

【図書館活動】

二〇二〇年は国民読書年です。図書館ではイベントや展示などを充実します。

■図書館は、乳幼児から高齢者までどなたでも自由に利用できます。本や雑誌だけでなく視覚資料も用意しています。

■地域資料の収集と提供、障害者の方への宅配サービスにも努めます。

また、「福生市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが身近に本と接することができるよう図書館、家庭、地域、学校等が連携し読書推進のための施策を更に充実していきます。

■図書館専用ホームページの充実にも努めます。

■調べもの利用できるインターネット用パソコンを中央館に2台、各分館に1台ずつ設置してあります。

■小・中学校に関して調べ学習や推薦リスト作成など学校との協力を引き続き行います。

■子どもたちが本に親しめるよう、ボランティアの方々と協力して各種事業を進めていきます。

■主な事業

▽講座↓年3回

▽おはなし会↓週1回（中央、月1回（わかぎり）、月2回（わかたけ）

▽小学生向けおはなし会↓月1回（中央）

▽幼児向けおはなし会↓月1回（わかたけ）

▽乳幼児向けおはなし会↓月1回（中央・わかぎり）

▽学校への出前おはなし会↓ボランティア団体との共催で実施

▽子どもお楽しみ会↓ボランティア団体との共催で実施

▽絵本原画展↓年1回（中央）

▽子ども映画会↓年2回（全館）

▽西多摩各市町村との広域利用並びに昭島市との相互利用の促進に努めていきます。

【体育活動】

市民の健康づくりとスポーツを振興するために、生涯スポーツの普及を重点的な目標とし、施設の整備充実、運動機会の提供と支援、奨励を図ります。

■スポーツ・レクリエーション活動に関する相談・指導・支援

■健康づくり、仲間との交流などのきっかけのために、ウォーキング事業、スポーツ教室（初心者等対象）等を実施

■健康増進・スポーツ普及事業（ふるさと雇用再生特別交付基金事業を活用し、NPO法人福生市体育協会に事業を委託し、健康増進・維持を目的とした各種事業を実施する。

■市制施行40周年記念事業

▽春・秋・新春ウォーキング大会

▽市営競技場リニューアルオープン事業（フライアンドサツカー）模範試合ほか

■日ごろの練習成果の発表の場として、大会の開催及び各種大会への選手・役員のパレードを行います。

▽平成22年度市民総合体育大会

▽第63回都民体育大会

▽第44回東京都市町村総合体育大会

▽都民スポーツふれあい大会

▽都民生涯スポーツ大会

▽第20回西多摩地域広域行政圏体育大会

※その他、各種団体、地域の大会及び運動会の後援、支援を行います。

◇施設整備◇

■市営野球場整備事業↓防球ネット高上げ、照明塔建設、外野人工芝化等の整備（平成21〜22年度）

■福生地域体育館空調設備改良事業↓設備の更新工事

◇体育館活動◇

■中央体育館事業

▽各種スポーツ教室↓小中学生バドミントン等（3期）

▽講習会↓指導者養成など

▽支援事業↓高齢者のスポーツ大会・運動会などの支援

▽開放事業↓ヘルシーエクササイズ、ボクササイズ、ヒーリングストレッチ、高齢者向け健康体操、子育てママリズム体操（託児付）、親子体操キッズ体操、ヨガなどの実施

※中央体育館の事業運営は、NPO法人福生市体育協会に一部委託をしております。

■熊川地域体育館事業

▽スポーツ教室↓小学生体操、幼児体操、親子体操、中高年者軽スポーツ等（3期）

▽公開指導事業↓エアロビクスタイム、かんたんステップエアロビクスなど

▽大会・行事↓春と秋のスポーツフェア、障害者のレクリエーションなど

▽開放事業↓ビーチボール、インディアカなどを毎週実施

▽自主事業↓フラダンス、はじめてのクライミングなど

■福生地域体育館事業

▽スポーツ教室↓幼児体操、ジュニアスポーツ、シニアエクササイズなど（3期）

▽公開指導事業↓楽しいエアロビクス、バランスボール&ストレッチなど

▽大会・行事↓春と秋のスポーツフェア、障害者の運動会などを実施

▽開放事業↓バドミントン、卓球などを毎週実施

▽トレーニング室↓専任トレーナーによる体力測定や相談、ビギナー講習会、ベーストレーニングタイム、ストレッチタイムなどを常時実施

▽自主事業↓フラダンス、ヨガ、ピラティスなど

※熊川地域体育館・福生地域体育館は指定管理者による管理運営となります。

問合せ 生涯学習推進課

☎5511・1950

教育随想

「三年間の任期を終えて」



前教育委員会事務局長 川越 孝洋 (兼)指導室長事務取扱

毎朝拝島にて青梅線に乗り換え、しばらくすると福生第一中学校が視界に入ります。その100m手前右手を振り返ると、玉川上水の四季の移り変わりを、そして、その直後には、一中野球部の早朝練習で元気な子どもたちを目にします。この福生の朝の光景が大好きでした。疲れを癒してくれる爽やかな春晴らしい朝でした。

福生市にお世話になって三年間、さまざまに活躍している輝く子どもたちと出会いました。そして、校舎のあちこちや昼夜、休日問わず常に子どもたちと共に在る先生方、いつも学校のことを気にかけて、何をおいても学校に協力していただいている保護者の方々と地域の方々とも多くの場面を共有できました。また、市役所でも子育てを最大限応援する議会や教育委員の方々、さらには、市役所職員の方々、誰よりもこのまちを愛する方々でした。

私は、子どもが大好きで東京都の教員になり、東部の地区を駆け出しに、中部、西部と多くの学校や行政を見てき

ました。しかし、こんなにも、子どもたちに深く大きな支援をしている自治体はないと思えるほど素晴らしいまちで働けたことに、誇りを感じると共に感謝の気持ちでいっぱいです。また、そうした支援に見事に応えてくれる子どもたちがたくさんいることを日々喜びとしながら充実した気持ちで、自らを奮い立たせ常に緊張感をもって務めることができました。

私は、この三年間行政の一員として、いかにして学校を本質的にサポートできるかをいつも考え、悩み、しかし、たくさんの方々に応援をいただきながら進めることができました。常に学校で見聞きする子どもたちを起点にして、子どもたちの成長を第一に考えながら自分の役割を果たしてきました。できる限り学校に出かけ、市内の各小学校、中学校の児童・生徒の実態を正確に把握し、児童・生徒や各学校が抱える課題について、その根拠や背景を含めて分析し、焦点化することを心掛けました。そして、学校教育施策として検討し、各学校と教育委員会が連携を密にして課題を共有するだけでなく、各学校の校長先生や先生方による実践と教育行政の施策との間にズレが生じないように努めてきました。

教育は、すべて意図的で計画的な営みです。私は、「子どもは学び続けていく限りくずれない」と思っています。私が出会った福生の先生方は皆、じつくりと子どもの視線で子どもの成長を信じて、子どもの自立へ向けて真正面から向き合っていました。朝一番、学級活動の中で、子どもたちのその日その時の心にあることを書かせ、毎日担任がコメントをつけて子どもたちに返却するという継続的な実践を通して、確実にクラスの落ち着きと学力向上につなげている、ある先生の実践。また、部活動による騒音の苦情を子どもたちに手紙を書かせることで、地域の苦情が応援に変わるという実践をした先生。子どもたちの進路実現のため、休日も返上して継続的に部活動や補習を続けている学校。さらには、学校に登校できない子どもたちに個別の学習で寄り添い、夜の家庭訪問で、保護者を元気づけ、勇気づけて、子どもの生活基盤を整えるお手伝いをしていく担任教師や学校サポートチームスタッフの方々。

子どもたちは学びをあきらめず、絶望したら、仲間、教師そして、自分自身を信用しなぐなります。福生の子どもたちが、生き生きと前向きに明るく生活し、「学びをあきらめ

ない」状況をいつもつくれるか、これが、私たちの責任であり、私たち教師は日々、子ども一人ひとりに声をかけ、励ます中で、子どもたちがより良く学習できる教材と学習環境づくりに努めています。私は、「わがりたい」という表情で机に向かい、「僕は頑張るんだ」という表情で鉛筆を握る福生の子どもたちをみて、改めて教師が「教える続ける」と「学び続けること」をあきらめない公立学校づくりへの強い意欲をもつことができました。

私の福生市教育委員会での職責は、自分を追い込み頑張っている先生方や管理職の方々と、現状を改善の視点で見つめお伝えいただいた保護者や市民の皆様の声に押されて果たすことができました。感謝しております。

しなやかな思考とさわやかに学び続けるふっさつ子の活躍、粘り強く子どもたちを支えてくださっている方々の活躍を心から祈ります。そこで、私の福生市での任期を終えるにあたり一句、「しなやかに、節目に思う、竹の春」

文化財だより

「福生市への道」

今年度、福生市は市制40周年を迎えます。そこで福生市が歩んだ市制への道をたどってみたい。

福生市域での人びとの生活の痕跡は縄文時代に始まります。市内の長沢遺跡では約4000年前の住居跡が発見されています。

しかしその後は鎌倉時代に至るまで、明確な人びとの生活の痕跡が確認されていません。鎌倉時代に入るとようやく人々の生活の痕跡が現れます。市内からはこの時代の板碑(石製の供養塔)が数基発見されています。

次の南北朝時代、そして室町時代から戦国時代にかけて、多摩地域も戦乱の時代でした。

市内に伝わる古文書によると、戦国時代の福生市域は、八王子城主北条氏照の支配となり、「福生郷」と呼ばれていました。天正18年(一五九〇)、徳川家康が関東に入国します。江戸時代がはじまり福生市域は、五日市街道をはさんで北側が福生村、南側が熊川村となり、江戶幕府の直轄領や旗本領として幕末まで続きました。明治時代に入ると、新政府のもとで明治4年(一八九二)に廢藩置縣がおこなわれました。その結果福生村と熊川村は、神奈川県を経て明治26年(一八九三)に東京府に所属します。その間、近隣の川崎村や五ノ神村などと合併や連合をした後の明治22年(一八八九)、「福生村熊川村組合」が福生市に至る第一歩として誕生しました。

昭和10年代になると、立川市周辺に軍事基地や軍事関連工場が数多く建設されます。福生市域にも太平洋戦争へと向かう緊迫した時代の昭和15年(一九四〇)、日本陸軍が多摩飛行場を建設しました。そしてこの年、「福生村熊川村組合」は東京府主導のもとで11月10日に福生町となりました。戦後、混乱の中からの復興が始まります。日本陸軍多摩飛行場は米軍横田基地となりました。国の経済の発展により、首都圏に人口が集中したことで、福生市域も都市化現象が進行していきました。昭和40年代はじめになると、市域の人口は3万人を超えました。都市化が加速したことから昭和43年(一九六八)、福生町の将来の発展と住民の福祉のため市制が必要という考えのもと、他の町とともに人口3万人で市制が施行できるよう国に対して要望しました。

そして昭和45年(一九七〇)、福生町は市制の夢が実現します。3万人市制が可能になったこの年、全国第一号として自治省から市制を許可され、7月1日に福生市が誕生しました。

福生市郷土資料室 5330・1120

教育委員会の動き

平成22年1月から3月までの教育委員会定例会の主な内容を紹介します。

平成22年第1回福生市教育委員会定例会(7月22日)

議案

平成21年度福生市教育委員会表彰者の決定について

議案1件

平成22年第2回福生市教育委員会定例会(2月18日)

議案

福生市入学資金融資条例の一部を改正する条例に対する意見聴取について

議案7件

「不登校・特別支援教育にかかわる組織・運営に関する在り方検討委員会」検討結果について

土曜日における授業の取組について

福生市教育振興基本計画(案)の制定について

議案1件

平成22年第3回福生市教育委員会定例会(3月26日)

議案

組織改正に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則について

議案8件

第二期福生市生涯学習推進計画」を策定するための福生市の生涯学習の振興方策に伴う答申について

議案2件

委員の委嘱関係議案2件ほか、報告事項5件

議案

庶務課 庶務係

551・1930



昭和45年の第一小学校